

第10回獣医学科特別セミナー

「日本の獣医領域における 核医学の現状と展望」

夏堀 雅宏 先生

日本動物高度医療センター(JARMeC)院長

2012年8月10日(金)13:30-14:30

連合獣医棟4F 大講義室

少子高齢化ならびに核家族化等の社会的背景もあり、近年家庭で飼育される犬および猫等の動物の位置づけが大きく変化し、盲導犬や介助犬等の補助犬が法律的にも認知されたことともに、これらの動物に対する先進的獣医療の遂行が、人間に対する福祉の観点からも重要視される時代になった。わけても、言葉で異常を訴えることのできない動物の体内情報を客観的かつ無侵襲的に把握できる先端的画像診断法への要望は大きく、X線CTならびにMRIはすでに広く利用されつつある。しかし、他方ではこれらによる診断に限界があることも事実であり、その一つである生体の機能情報を非侵襲的に得る方法として、核医学診療を獣医療において可能にしたいとする要望が高まっている。

今回は、日本の獣医領域における核医学導入に向けた取り組みと、その将来展望について述べる。

世話人 中市統三 (獣医放射線学研究室)

最先端の研究内容に触れる機会ですので、
学生のみなさんも奮ってご参加ください。
他学科の皆様のご参加も大歓迎です。

連絡先 加納 聖(5883)
下島昌幸(5888)